

担い手のライフサイクルに応じた支援

タイトル 鳥インフルエンザ発生農家への支援JA名 JAバンク岡山（岡山県）

1 動機 (経緯)	平成 27 年 1 月に岡山県内で高病原性鳥インフルエンザが発生しました。発生農場では 20 万羽の鶏が殺処分となり、周辺の養鶏業者についても移動制限区域や搬出制限区域の指定を受けました。これらを受けて、JAバンク岡山では発生農家に対する作業支援および、融資等の相談窓口設置を行いました。
2 概要	① 殺処分された鶏 20 万羽の焼却作業支援。 ② JAバンク岡山における融資等相談窓口の設置。
3 成果 (効果)	発生農場で殺処分された鶏 20 万羽の焼却処分について、焼却場 2 か所に JA グループの職員延べ約 90 名を派遣し、岡山県庁職員等と共に焼却作業支援を行いました。殺処分数が多く作業に時間がかかっておりましたが、当支援により作業の円滑化に貢献いたしました。また、融資等の相談窓口を設置し、JAバンク岡山のホームページに掲載することで、鳥インフルエンザ発生の影響を受けた方々への相談体制を整備いたしました。
4 今後の 予定 (課題)	今後も災害・病害発生時には農業者の皆様への支援を迅速に行っていきます。